



東海第二原発(左奥)

東海原発(右奥) 廃炉中

地震・火山国の日本で 原発は大変危険

大地震(震度6弱以上)
発生確率30年以内に

水戸で70%

政府の地震調査委員会は、昨年12月「全国地震動予告地図」2014年版を公表しました。

それによると、30年以内に震度6弱以上の地震に会う確率は、太平洋側で高く、水戸では70%の確率になると発表されています。茨城も東日本大震災以上の地震がいつ起きてもおかしくない状況になっています。

福島原発は、地震・津波により全所停電で冷却不能になり過酷事故となりました。東電は津波が原因と言っていますが、専門家からは地震による配管破損の疑いがあると指摘されています。事故原発内には立ち入れないため、地震ではないと証明することは誰にも出来ません。

日本は、世界の地震の1割が起きている地震国です。大地震が起きれば、東海第二原発も過酷事故にならない保障はありません。

東海第二原発 再稼働ストップ 日立市民の会

ニュース NO. 4
2015年6月

連絡先

荒川照明

〒316-0021

日立市台原町 2-10-10

電話 090-9845-7019

Eメール

arakawa.teru@net1.jway.ne.jp

新規制基準「適合」でも

安全の保証ではない

現在、地震や火山噴火が頻発しており原発の存在そのものが大変心配です。まして原発運転中に自然災害が襲ってきたら大惨事になります。今すべての原発は運転を停止しており、このまま再稼働せず廃炉が求められます。

原子力規制委員会の田中俊一委員長は、「新規制基準に適合しても絶対安全とは言えない」と記者会見で明言しています。一方、安倍首相は、規制委員会を通ったものは再稼働すると再三公言しています。

東海第二原発は日立市からわずか2kmにあり、運転36年を経過した老朽原発です。30km圏内には96万人が居住しています。

現在規制委員会で審査されていますが、万が一「適合」になれば60年稼働の原発になります。とんでもないことです。県内では、知事あてに「再稼働認めず、廃炉を求める」署名が30万筆以上提出されています。再稼働ストップのためみんなで力を合わせましょう。